

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 令和 7年 2月10日

児童発達支援センターあいあい

利用児童数 159 (回収数 46)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	41	5	0	<p>具体的な支援や教具を教えてもらった。情報の共有ができて良かった。</p> <p>難しいアドバイスをされることもあるが、助言は現実的で取り入れやすかった。</p> <p>集団活動がある前提の中で、個別支援についての助言があること。</p> <p>以前の生徒の様子と比較して話して下さるので、変化がよくわかる。</p> <p>保育所施設と療育施設とのギャップを様々な意味で感じた。</p> <p>療育施設ではないので、取り入れにくいこともある。</p> <p>具体的な児童の姿とその裏にある思いをわかりやすく聞けた。</p> <p>学校生活は集団活動の場であるため、個に応じた支援と集団に応じた助言があるとありがたい。</p> <p>児童生徒との長い付き合いなので、保護者とも連携がとれたアドバイスがいただけるため。</p>	<p>今後も、訪問施設で取り入れられ支援を状況に合わせた助言や説明が出来るよう努める。</p> <p>個に応じた支援と集団に応じた助言を意識して訪問支援を行う。</p>
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	39	7	0	<p>こちらが分からないことについても、わかり易い言葉で説明して頂いている。</p> <p>短時間の交流では、知識・技術までは把握できない。</p> <p>専門的な見地からアドバイスをいただける。</p> <p>園では取り入れていないことに助言をいただいている。</p> <p>知識・技術と言われると、具体的に出てきません。</p> <p>支援について何が良かったかをはっきり言ってくださるのでやる気が増す。</p> <p>学校外での取り組みや、適切な手立てと一緒に考えてくれる。</p> <p>該当生徒の発達の段階等をふまえて、適切にアドバイスをしていた。</p> <p>生徒の実態把握に基づいて、様々な助言をいただけた。</p> <p>P T、O T、S Tなど専門家を配置しており、説得力のある支援が受けられる。</p>	<p>訪問施設に応じた支援が深まるよう、知識・技術等の向上に努める。</p>
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	39	7	0	<p>毎回、適切に回答していただいている。</p> <p>支援の方向性について助言をいただいた。</p> <p>生徒の好ましい変化をもとに回答しておられる。</p> <p>個別支援について、特にアドバイスをいただけている。</p> <p>児童についてよくご存知なので本気で相談できる。</p> <p>提案があるとありがたい。</p> <p>自分が困っていることや悩みを丁寧に聞いてくださり、アドバイスや意見をたくさんいただき、とても参考になった。</p> <p>事業所で求められている事と、保育所が求めていることにギャップがある。</p>	<p>児童への捉え方を含め、児童の過ごす姿を総合的に捉えられるよう努める。</p>

4	<p>保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。</p>	30	15	<p>1</p> <p>児童が学校に来る、きっかけになった。集団の中で対応の仕方、個々の子どもへの声掛けを教わり、無理をさせず対応が出来る。経過観察が必要のため、どちらとも言えないとした。保護者の思いや要望を柔らかく伝えてくださるので、ありがたい。就学前の様子と合わせて現在の課題支援を助言していただいたので、指導についての困りごとが軽減された。集団の中で個別に特化した内容が取り組みにくい。多様な子どもや家庭の背景を保育所が試行錯誤して受け入れていることを、安易に考えられている。早出や延長保育ができるような、療育と保育を兼ねた施設が早期に必要なと感じた。学校と訪問支援場所との交流により、児童のことをより深く考えられるので、とても助かっている。即効性があるわけではないので、継続して支援していただくことで児童の成長につなげたい。</p>	<p>早出、延長保育について、児童発達支援事業の方と情報共有し、来年度より必要であるご家庭について、延長支援を行える体制を検討することとなっている。</p>
5	<p>事業所からの支援に満足していますか。</p>	38	8	<p>0</p> <p>担任として、支援や保育の中での迷いを、教えて頂くことができ、継続して支援していただきたいと思う。授業ありきの仕事内容なので、支援まで配慮できない場合も多い。別視点からの意見はとても貴重だった。様々な疑問の解決に繋がっている。それぞれでの園での様子を共有し、同じ対応することで、本児もパニックになることなく、スムーズに生活が送れる。何をしているのかわからないため、実感がわからない。学校と保護者との架け橋となって頂き、非常に助かっている。細かい連携が必要。支援の進捗がどうか回る事ができるくらいの間隔（1学期に1回）で、来ていただいているのでちょうどよい。事業所での支援方法（どのようなことを指導し、できるようになっていることなど）が共有できれば、より良い支援に繋がるかと思う。</p>	<p>授業や保育等の貴重なお時間に訪問させて頂いて頂いていることに感謝申し上げますと共に、より支援の充実を図り、満足していただけるよう、訪問支援員のスキルアップを図る。</p>
<p>その他のご意見</p>				<p>ご意見を踏まえた対応</p>	
<p>個々の子どもについての連携をたくさんさせて欲しい。保護者とゆっくり話し合う機会がないため、間に入って頂いているのは本当にありがたい。児童に対して手探りで指導しているようなところがあるので、就学前の児童の様子から助言を受けられるのが助かる。療育施設での子どもの姿を知ることができてよかった。相談した際に適切な支援方法を考えたり、教えてくださるので、参考になっている。保護者が訪問支援を依頼した理由を事前に教えていただきたい。その趣旨に沿った活動内容での児童の様子を支援員さんに見ていただいた方が、より適切な助言がいただけると思うため。報告書を丁寧に作成いただきありがたいと思っている。訪問支援をもとに各期の指導計画の作成に反映させていただいている。学校での様子を見て、園の時より成長しているところを評価してくれませんが、訪問支援員さんからの助言等は特にはない。</p>				<p>保護者の方からの訪問支援ご依頼理由については、訪問日の調整の際にお伝えできるよう努める。訪問施設への助言等が、どのケースにおいても児童や状況に合わせておこなえるよう取り組む。</p>	